

防災地学特論 第7～10回の授業について

今回の第7回から第10回までの4回の授業の担当は、これまでの関先生から、永野勝裕に代わります、よろしくお願いします。

授業はこれまで通り「オンライン授業（非同期）」で行います。授業の形式も基本的には、これまでの関先生と同様に、授業資料を読んでそれに関する課題を行うことになります。各回の授業日の1週間前（5月31日の第7回の授業であれば5月24日の10:40）に授業資料のPDFファイル（以後授業ファイルという）と課題がLETUSで見られるようになりますので、授業ファイルを読んで各自勉強してください。

授業ファイルを読んで勉強し、内容をきちんと理解し、課題をやって提出してください。課題を書いた課題提出用のWordファイルがLETUSの各回の「課題」においてあるので、課題の解答をそのWordファイルに直接記入して、そのWordファイルを提出してください。提出するときにはわざわざファイル名を書き換えたり、PDFファイルにしたりする必要はありません（やっても問題はありませんが）。

課題の提出期限は次回の授業開始時刻（5月31日の第7回の授業であれば6月7日の10:40）までです。提出期限を過ぎると、その日数に応じて減点があります。もし2週間（5月31日の第7回の授業であれば5月24日～6月7日）の間に提出できない正当な理由がある場合は、ユーザー名：k-nagano、ドメイン名：rs.tus.ac.jp に連絡してください。

課題は各回3問あり、それぞれ10点ずつで、気象分野の4回分で120点満点（といっても最高点くらいの人で100点くらいになると思います）です。これは気象分野の4回分だけの話で、最終的な成績は関先生の地質分野と合わせて、関先生がつけることになります。提出期限を過ぎると、1日あたり1点減点になりますので、提出期限をきちんと守るようにしてください。もし期限に間に合わない場合、1日でも早く提出するようにした方がいいと思います。

課題の内容は、授業ファイルに書かれていることで、授業の内容がきちんと理解できているかを問うようなものです。したがって、授業ファイルを読んで理解したことを、課題の答えになるような文章にして説明を書いてください。採点基準も授業で話した内容となります。そのため、ウェブなどで調べて授業ファイルに書かれていないことを課題に書いても、それは点数にはなりませんので、課題のためにわざわざ調べる必要はありません（もちろん授業ファイルでわからないことがあったら調べる必要があるかもしれませんが）。

この課題の解答の文章は、自分が理解したことを自分の言葉で書いてください。できれば大学院生らしい文章を書くようにしてほしいですが、コピペのようなものよりは稚拙でも自分の言葉で書いてある方がはるかにマシですので、たとえ稚拙な文章になっても自分の言葉で書くようにしてください。

コピペに類するものと判断した文章は0点となります。授業ファイルやWEBに書かれている文章の文字通りのコピペだけでなく、適当にコピペした文章をいじったもの（言葉を少し変

えたり、単語や文章を入れ替えたりなど）もコピー扱いになります。また、友達の文章のコピーなどもNGですが、この場合、元になった人も含めて点数がつかなくなるので、もし友達からレポートを写させてと言われたら、自分がその友達の道連れで0点になる可能性も考え、「わからないことは教えるから自分の言葉で書くように」など、自分の課題の解答を見せることはしない方がいいと思います。さらに、もし授業ではよく理解できなかったのも、ウェブなどで調べてそれをもとにして書こうとして、どうしてもコピーっぽくなると心配なら、その資料を見ずに課題の解答を書けば、（記憶力が極端によくなければ）コピーっぽくならないと思います。

剽窃チェック(Turnitin)の機能をオンにしていますので、もし提出するときに変な画面が出てきたら「LETUS学生利用マニュアル」の19ページを参照してみてください。

第7回から第10回までの気象関係について質問がある場合には、LETUSの「7.雷による災害（5／31）」にある「気象関係の質問はこちら」の方をお願いします。